

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	橋りょう長寿命化事業		財務会計上の事業名	橋りょう長寿命化事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1041	1	財務会計上の短縮番号	4880
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目1計画的な道路整備・管理の推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	老朽化する橋りょうに対し、予防的な修繕を施工することにより延命化を図り、安心・安全な道路網を確保すると共に、更新時期の集中を遅らせることによりライフサイクルコストの削減を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市道に架かる橋りょう
事業の手段・方法 (どのように)	橋りょう長寿命化計画に基づく修繕工事を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 22 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第42条(道路の維持又は修繕)、道路法施行規則第四条の五の五

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		21,082		24,273		86,024		144,500		354.4%
主な内訳	委託料	4,752		24,273		86,024		55,500		0.0%
	請負費	16,330						89,000		-
人件費(人・千円)		0.21	1,596	0.23	1,702	0.38	2,888	0.47	3,666	165.2%
内訳	正職員	0.21	1,596	0.23	1,702	0.38	2,888	0.47	3,666	165.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		22,678		25,975		88,912		148,166		342.3%
財源	国・府支出金	4,950		2,365		41,728		79,475		1764.4%
	地方債					30,500		53,600		-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	17,728		23,610		16,684		15,091		70.7%
一般財源比率 C÷A		78.2%		90.9%		18.8%		10.2%		20.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	橋りょうの長寿命化修繕計画に基づく設計及び点検業務。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	工事については、アウトソーシングという考え方が無いため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	橋りょうの修繕	橋	1	-	5	5	-	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	修繕の詳細設計	橋	-	9	-	12	-	
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	橋りょうの点検	橋	-	-	-	16	-	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				橋りょうの延命化を図ることができたため。					
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			橋りょう修繕計画に沿って補修工事を実施し、安心・安全な道路網を確保でき、かつライフサイクルコストの削減を図ることができたため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	老朽化する橋りょうに対し、引き続き点検・補修することにより、安全・安心な道路網を確保する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	道路橋127橋や横断歩道橋9橋の点検・補修及び耐震化を実施するには、予算確保並びに技術者の確保・育成が必要。
	対 策	損傷程度や重要性を考慮し、優先順位を決め、効率的な事業遂行に取組む。引き続き交付金を活用するとともに、事業実施のために必要な人員を確保していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も計画に沿って老朽化した橋りょうの改修を図ることが必要である。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	脇尾 真次	
(※)第2期実施計画の事業名	都市計画道路明示測量事業		財務会計上の事業名	都市計画道路明示測量事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1041	2	財務会計上の短縮番号	5105	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第4節道路網の整備			
	項目	項目1計画的な道路整備・管理の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	都市計画道路の計画線を明確にする。
事業の対象 (誰を、何を)	市民及び事業者
事業の手段・方法 (どのように)	都市計画道路区域内の建築行為に関して、土地所有者の申請に応じて、現地測量を実施し、申請地付近にある計画道路中心線を設置し、明示指令図を交付する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		0		156		172		250		110.3%
主な内訳	委託料	0		156		172		250		110.3%
										-
人件費(人・千円)		0.12	912	0.07	518	0.09	608	0.15	1,092	128.6%
内訳	正職員	0.12	912	0.07	518	0.07	532	0.13	1,014	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.02	76	0.02	78	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		912		674		780		1,342		115.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	912		674		780		1,342		115.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	測量業務について委託し、事務簡略化が図られている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	現地明示測量件数	件	0	0	1	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		申請者の意向により実施することから、目標値を設定することができない。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	申請者の意向により明示測量ができる体制を整えていく必要があるため、改善の余地がない。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	申請者の意向により明示測量ができる体制を整えておく必要があるため。	
現在抱える課題と対策	課 題	特になし
	対 策	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	H25年度からH27年度までに都市計画道路の見直しを行っており、今後、申請は限られると予想されるが、申請者の意向により明示測量ができる体制を整えておく必要がある。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	歩道改良事業		財務会計上の事業名	歩道改良事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1043	1	財務会計上の短縮番号	4874
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目3市内幹線道路の整備		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する。
事業の対象 (誰を、何を)	歩道
事業の手段・方法 (どのように)	池田市交通バリアフリー基本構想に準じ、歩道の改良・拡張、透水性舗装、視覚障がい者誘導ブロック等を施工する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 19 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市交通バリアフリー基本構想(H18.3)

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		14,920		14,939		26,179		15,000		175.2%
主な内訳	請負費	14,920		14,939		26,179		15,000		175.2%
										-
人件費(人・千円)		0.20	1,520	0.23	1,702	0.32	2,432	0.30	2,340	139.1%
内訳	正職員	0.20	1,520	0.23	1,702	0.32	2,432	0.30	2,340	139.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		16,440		16,641		28,611		17,340		171.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(交通対策特交金)					1,000		1,000		-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	16,440		16,641		27,611		16,340		165.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		96.5%		94.2%		96.5%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	工事については、アウトソーシングという考え方がないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	特定経路の整備率	%	68.6	68.6	69	68.6	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				未整備路線の中には、用地の制約や利用状況などから整備困難な路線が含まれているため、整備率が上がらない。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				特定経路以外にも歩道があり、街路樹の根上りや舗装の経年劣化により歩きにくい歩道となっているため、改良していくことは有効。市内全域の歩道に対して、より快適な歩道空間を形成するためには更なる事業費の確保が必要。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、歩道改良を進めていく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	高齢化社会が加速し、歩きやすい歩道に対する市民の関心が高まる中、歩道の改良が進まない。地形的、用地的な制約があり、改良困難な歩道がある。
	対 策	当初のバリアフリー基本構想から10年が経過し、新たなバリアフリー基本構想を作成し、市内全域の歩道空間を対象に計画を作成し、事業を実施していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	池田市交通バリアフリー基本構想に基づき整備が必要である。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	狭あい道路整備促進補助事業		財務会計上の事業名	狭あい道路整備促進補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	1	財務会計上の短縮番号	4657
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	道路後退部分を市で管理することにより狭あい道路の解消を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	建築物の建築行為を行う土地所有者等
事業の手段・方法 (どのように)	道路後退部分の分筆登記費用及び舗装工事等に対し、寄付を前提に助成する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 14 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市狭あい道路の整備促進に関する要綱

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		6,597		5,252		3,051		6,000		58.1%
主な内訳	補助金	6,597		5,252		3,051		6,000		58.1%
										-
人件費(人・千円)		0.74	4,149	0.78	4,347	0.82	3,997	0.85	4,325	105.1%
内訳	正職員	0.49	3,724	0.53	3,922	0.37	2,812	0.40	3,120	69.8%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.20	760	0.20	780	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.25	425	0.25	425	0.25	425	0.25	425	100.0%
支出合計 A		10,746		9,599		7,048		10,325		73.4%
財源	国・府支出金					1,006		1,880		-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	10,746		9,599		6,042		8,445		62.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		85.7%		81.8%		85.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市が主体の事業であり、申請件数の把握が困難なことで、個人情報が含まれているため外部委託は不可能。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	狭あい道路整備	件	9	6	3	10	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				順次狭あい道路を解消し、将来的に緊急車両等が通行可能な道路を確保できたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				順次狭あい道路を解消し、将来的に緊急車両等が通行可能な道路を確保するためには、有効な手法であるが、助成金では整備が困難な箇所について、より多くの事業費が必要。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き狭あい道路を解消していくため、寄付を前提に助成を進めていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	寄付を前提にしている為、寄付が成立しなかった場合、空地は確保されるが道路形態としては整備されない。また、崖地などの整備に多額の費用が発生し、助成金での整備は困難。
	対 策	要綱を見直し、助成の対象を拡充する。用地の買上げも含め、狭あい道路の解消に取り組む。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路との高低差のある後退整備や交差点の喚元敷地の後退整備など狭あい整備の重点課題について拡充をはかり、安全安心な道路行政の推進が必要である。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦	
(※)第2期実施計画の事業名	道路等管理システム運用事業		財務会計上の事業名	道路等管理システム運用事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	2	財務会計上の短縮番号	4807	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第4節道路網の整備			
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	管理システムの構築を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	法定・法定外公共物
事業の手段・方法 (どのように)	法定・法定外公共物で寄付・帰属を受けたデータ、明示確定図更新、譲与申請、管理業務の推進。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28	
事業費(千円)	2,343		2,748		2,354		2,500		85.7%	
主な内訳	電算委託料	2,343	2,748	2,354	2,500	85.7%	-	-		
人件費(人・千円)	1.51	8,526	1.50	8,250	1.50	7,500	1.54	7,987	100.0%	
内訳	正職員	1.01	7,676	1.00	7,400	0.75	5,700	0.79	6,162	75.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.25	950	0.25	975	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.50	850	0.50	850	0.50	850	0.50	850	100.0%
支出合計 A	10,869		10,998		9,854		10,487		89.6%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(道路占用料)	2,343	2,748	2,354	2,500	85.7%				
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	8,526	8,250	7,500	7,987	90.9%					
一般財源比率 C÷A	78.4%		75.0%		76.1%		76.2%		101.5%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	寄付・帰属データ及び明示確定図等をスキャンし、パソコンによる閲覧を可能とするため、年度更新を図る必要があることから業者委託を行っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	更新作業	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	境界明示資料の境界画定業務のデータ化により、迅速な対応ができたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	境界明示資料の境界画定業務のデータ化により、迅速な対応ができて有効的であるが、道路台帳との1本化を図ることにより更なる事業費の削減が可能のため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	境界明示資料の境界画定業務のデータ化により、迅速な対応ができる。	
現在抱える課題と対策	課題	道路台帳との1本化
	対策	道路台帳との1本化の実施
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路台帳のデジタル化に伴いシステムを道路台帳に移行し、効率的な運用をめざす。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	市道敷地取得測量事業		財務会計上の事業名	市道敷地取得測量事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	3	財務会計上の短縮番号	4805
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	登記上の権原取得が完了し、市道敷地として管理できる。
事業の対象 (誰を、何を)	道路後退部分等の寄付を受けた道路敷地
事業の手段・方法 (どのように)	測量及び分筆作業を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28	
事業費(千円)	1,993	1,105	1,340	2,500	121.3%	
主な内訳	測量委託料	1,993	1,105	1,340	2,500	121.3%
						-
人件費(人・千円)	0.82, 4,757	0.86, 4,939	0.93, 4,833	0.93, 4,949	108.1%	
内訳	正職員	0.57, 4,332	0.61, 4,514	0.48, 3,648	0.48, 3,744	78.7%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0.20, 760	0.20, 780	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.25, 425	0.25, 425	0.25, 425	0.25, 425	100.0%	
支出合計 A	6,750	6,044	6,173	7,449	102.1%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他(道路占用料)	1,993	1,105	1,340	2,500	121.3%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	4,757	4,939	4,833	4,949	97.9%	
一般財源比率 C÷A	70.5%	81.7%	78.3%	66.4%	95.8%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	道路中心後退により発生した用地の寄付に伴う、測量及び分筆作業を業者委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	権原取得測量	件	8	3	3	10	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	寄付・帰属による道路の分筆測量を行い、池田市への所有権移転により、道路管理を行うことができたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	寄付・帰属による道路の分筆測量を行い、池田市への所有権移転により、道路管理を行うことができ、効率的に道路管理を行うことができたため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、寄付・帰属による道路の分筆測量を行い、池田市への所有権移転により、道路管理を行う。	
現在抱える課題と対策	課題	狭あい道路助成以前の道路後退物件の把握。
	対策	路線別にて調査を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	狭あい道路整備の一環として土地取得のため、本事業を推進する。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	道路台帳作成事業		財務会計上の事業名	道路台帳作成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	4	財務会計上の短縮番号	4810
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市道敷地の把握と適切な管理が出来る。
事業の対象 (誰を、何を)	前年度、寄付・帰属を受けた市道敷地
事業の手段・方法 (どのように)	道路台帳の整備
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第28条(道路台帳)

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		4,536		4,752		4,997		5,000		105.2%
主な内訳	台帳作成委託料	4,536		4,752		4,997		5,000		105.2%
										-
人件費(人・千円)		0.26	1,976	0.26	1,924	0.43	2,508	0.44	2,652	165.4%
内訳	正職員	0.26	1,976	0.26	1,924	0.23	1,748	0.24	1,872	88.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.20	760	0.20	780	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		6,512		6,676		7,505		7,652		112.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(道路占用料)	4,536		4,752		4,997		5,000		105.2%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,976		1,924		2,508		2,652		130.4%
一般財源比率 C÷A		30.3%		28.8%		33.4%		34.7%		116.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	前年度で寄付・帰属を受けた市道について、道路法に定められた道路台帳の更新作業として業者委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	道路台帳作成業務	回	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		寄付・帰属による道路台帳の更新により、正確な情報の提供ができたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		寄付・帰属による道路台帳の更新により、正確な情報の提供ができ、有効的であるが、地積調査と道路台帳の整備を行い、管理システムの1本化を図ることにより更なる事業費の削減を図ることができるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	寄付・帰属による道路台帳の更新による正確な情報提供。	
現在抱える課題と対策	課 題	毎年、台帳更新費用が必要となる。
	対 策	地積調査と道路台帳の整備を行い、管理システムの1本化によるコスト削減を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路台帳のデジタル化により各管理システムの1本化を図り、効率的な運用めざす。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	道路維持事業(道路維持管理事業)		財務会計上の事業名	道路維持管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	5	財務会計上の短縮番号	4830
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民の安全で快適な通行の確保
事業の対象 (誰を、何を)	市内一円の市道及び市管理道路
事業の手段・方法 (どのように)	適切な維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第42条(道路の維持又は修繕)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28
事業費(千円)		24,332	24,849	23,520	24,417	94.7%
主な内訳	補助金	16,626	16,752	16,695	17,526	99.7%
	光熱水費	1,190	906	787	1,260	86.9%
	修繕料	5,659	6,361	5,233	4,823	82.3%
人件費(人・千円)		0.63 4,788	0.47 3,478	0.58 4,408	0.59 4,602	123.4%
内訳	正職員	0.63 4,788	0.47 3,478	0.58 4,408	0.59 4,602	123.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時任用職員		0	0	0	0	-
支出合計 A		29,120	28,327	27,928	29,019	98.6%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		29,120	28,327	27,928	29,019	98.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	経常経費の事業であり、一部の業務を池田市公共施設管理公社に補助金を支出し、実施している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	路面補修の件数	件	68	60	62	60	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		道路及び付属施設について、適宜、点検・補修を行い、維持管理できたため。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	道路及び付属施設について、必要な時に必要な箇所に対し、点検・補修を行い維持管理できているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、道路及び付属施設について、適宜、点検・補修を行い、維持管理していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	市職員が減少し、要望件数も増える中、池田市公共施設管理公社との連携が課題。
	対 策	池田市公共施設管理公社との連携を効率的にとる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路及び付帯施設の維持管理の需要が高まる中、引き続き本事業の推進を図る必要がある。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	道路維持事業(道路維持委託事業)		財務会計上の事業名	道路維持委託事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	5	財務会計上の短縮番号	4835
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	道路維持関連業務を委託することにより、市民の快適な日常生活の寄与に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	市内一円の市道及び市管理道路における道路清掃、土砂処分、ポンプ点検等
事業の手段・方法 (どのように)	専門業者に委託する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28				
事業費(千円)		24,958	27,477	28,842	29,201	105.0%				
主な 内訳	清掃委託料	19,387	21,562	22,673	23,000	105.2%				
	シルバーセンター活用事業委託料	3,032	3,377	3,412	3,485	101.0%				
	処分委託料	1,199	1,199	1,185	1,200	98.8%				
人件費(人・千円)		0.78	5,928	0.85	6,290	0.66	5,016	0.62	4,836	77.6%
内 訳	正職員	0.78	5,928	0.85	6,290	0.66	5,016	0.62	4,836	77.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		30,886	33,767	33,858	34,037	100.3%				
財 源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他()					-				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	30,886	33,767	33,858	34,037	100.3%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	定期的な事業であり、市で設計し、委託事業として発注している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	道路清掃	km	291.3	291.3	291.3	291.3	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				市民の快適な日常生活に寄与したため。				
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		道路維持の定期的な委託事業であり、市民の快適な日常生活に寄与しており、有効かつ効率的であるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	道路維持の定期的な委託事業であり、今後も継続的に必要な事業。	
現在抱える課題とその対策	課 題	労務費の上昇に伴い、委託料が増加傾向となっているため、前年度と同様に実施するための工夫が必要。
	対 策	業務の実施時期や方法を検討するとともに、市民による清掃活動を奨励することにより、快適な道路環境づくりに努めていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路維持において需要が高まる中、市民参画の可能性を示唆しながら、事業推進を図ることが必要である。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	道路維持事業(道路維持工事)		財務会計上の事業名	道路維持工事
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	5	財務会計上の短縮番号	4840
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内一円の市道及び市管理道路の車両や歩行者の円滑な通行を確保する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内一円の市道及び市管理道路
事業の手段・方法 (どのように)	維持補修を効果的に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第42条(道路の維持又は修繕)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		99,939		109,998		114,978		115,000		104.5%
主な内訳	請負費	99,939		109,998		114,978		115,000		104.5%
										-
人件費(人・千円)		0.44	3,344	0.51	3,774	0.42	3,192	0.44	3,432	82.4%
内訳	正職員	0.44	3,344	0.51	3,774	0.42	3,192	0.44	3,432	82.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		103,283		113,772		118,170		118,432		103.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(道路占用料)	61,003		76,902		62,298		60,000		81.0%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	42,280		36,870		55,872		58,432		151.5%
一般財源比率 C÷A		40.9%		32.4%		47.3%		49.3%		145.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	維持補修工事	m	9,303.1	10,300.0	10,616.8	10,000.0	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				市内一円の舗装は、経年劣化により損傷箇所が多く、またそれに対する補修要望が多い				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				経年劣化による損傷箇所や補修要望箇所に対して、有効的な手法であるが、多様化・高度化する市民ニーズに対して、より多くの事業費の確保が必要。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、経年劣化による損傷箇所や補修要望のある路線について、順次補修していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	今後、さらに経年劣化による損傷箇所が増加していくことが想定され、事業費の確保が必要。
	対 策	補修計画を作成し、交付金を活用することにより、事業費を確保する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	人件費や材料費の高騰により、市道管理延長215kmの維持管理に遅れをきたし、毎年、年度末において、次年度への持ち越し工事が増加し支障が出ている。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	交通安全施設整備事業		財務会計上の事業名	交通安全施設整備事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	7	財務会計上の短縮番号	4750
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	安全かつ円滑な道路の整備
事業の対象 (誰を、何を)	市内の市道及び市管理道路
事業の手段・方法 (どのように)	危険箇所に道路反射鏡、防護柵、区画線等を設置する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第45条(道路標識等の設置)、道路法第85条(道路の附属物の新設又は改築)

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		16,401		31,465		16,467		27,000		52.3%
主な内訳	請負費	16,401		31,465		16,467		27,000		52.3%
										-
人件費(人・千円)		0.52	3,952	0.76	5,624	0.62	4,712	0.70	5,460	81.6%
内訳	正職員	0.52	3,952	0.76	5,624	0.62	4,712	0.70	5,460	81.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		20,353		37,089		21,179		32,460		57.1%
財源	国・府支出金							4,400		-
	地方債									-
	その他(交通安全対策特別交付金)	15,873		14,642				14,000		0.0%
	うち受益者負担 B			5,000						0.0%
	一般財源 C	4,480		22,447		21,179		14,060		94.4%
一般財源比率 C÷A		22.0%		60.5%		100.0%		43.3%		165.2%
受益者負担率 B÷A				13.5%						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	工事については、アウトソーシングという考え方がないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	街路灯の設置	基	6,667	6,667	6,687	6,700	6,700
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	道路反射鏡の設置	基	1,088	1,115	1,140	1,150	1,150
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				交通安全施設の改良を図り、安心・安全な道づくりができたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			交通安全施設の改良について、有効かつ効率的に実施でき、安心・安全な道づくりに寄与できたため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		引き続き交通安全施設の改良を図り、安心・安全な道づくりをめざす。
現在抱える課題と対策	課 題	通学路の安全対策や生活道路の安全対策について、社会的な関心が高まっている。
	対 策	交通安全対策特別交付金を活用しつつ、更なる予算確保をし、安全・安心な道づくりを行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		今後も道路安全施設の整備を図って行くことが必要である。

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	交通安全施設維持管理事業		財務会計上の事業名	交通安全施設維持管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	8	財務会計上の短縮番号	4755
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	交通安全施設の適切な維持管理
事業の対象 (誰を、何を)	交通安全施設
事業の手段・方法 (どのように)	設置された交通安全施設を適切に修繕・更新し、機能を保全する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)		30年度 (予算)	H29/H28			
事業費(千円)		69,488	90,377	40,184		58,390	44.5%			
主な内訳	光熱水費	40,320	35,453	19,099		19,106	53.9%			
	修繕料	29,078	54,833	20,896		19,973	38.1%			
	消耗品費	89	90	189		50	210.0%			
人件費(人・千円)		1.32	5,312	1.48	6,392	0.95	6,040	0.97	6,346	64.2%
内訳	正職員	0.52	3,952	0.68	5,032	0.75	5,700	0.77	6,006	110.3%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.80	1,360	0.80	1,360	0.20	340	0.20	340	25.0%
支出合計 A		74,800	96,769	46,224		64,736	47.8%			
財源	国・府支出金									
	地方債									
	その他()			13,712		8,610				
	うち受益者負担 B									
	一般財源 C	74,800	96,769	32,512		56,126	33.6%			
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	70.3%		86.7%	70.3%			
受益者負担率 B÷A										
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	市民の安全を確保する為、施工業者と年間単価契約を締結し、緊急修繕等に対応している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経常経費の事業や工事発注を伴う事業であり、アウトソーシングする必要がないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	街路灯の修繕件数	件	627	620	263	300	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	反射鏡の修繕件数	件	92	112	79	90	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		設置された交通安全施設を適切に維持管理できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		街路灯の電気代や修繕費は必要不可欠であり、将来にわたって継続する事業。老朽化していく施設に対して、修繕料の確保が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、適切に修繕することにより、市民の安全を確保する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	緊急性を要する損傷が発見され、多額の費用を要するような場合の予算措置が困難。
	対 策	適切に点検を実施し、計画的に更新していく。更新費用を的確に把握し、予算要求していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	道路安全施設の適切な維持管理を図っていくためには、老朽化に対する修繕が必要不可欠であり、予算の増額が必要と考える。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	上田 正彦
(※)第2期実施計画の事業名	道路再整備事業		財務会計上の事業名	道路再整備事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1044	9	財務会計上の短縮番号	4877
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第4節道路網の整備		
	項目	項目4生活道路の整備と狭あい道路の解消		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	安心、安全な道路網を確保する。
事業の対象(誰を、何を)	老朽化する道路ストック
事業の手段・方法(どのように)	維持管理計画の作成及び実施(調査、点検、補修)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 25 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	道路法第42条(道路の維持又は修繕)、道路法第85条(道路の附属物の新設又は改築)、道路法施行規則第四条の五の五

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (決算)	30 年度 (予算)	H29/H28				
事業費(千円)		55,298	54,701	0	117,000	0.0%				
主な内訳	委託料	27,540	24,569	0	28,000	0.0%				
	請負費	27,758	30,132	0	89,000	0.0%				
人件費(人・千円)		0.34	2,584	0.37	2,738	0.18	1,368	0.18	1,404	48.6%
内訳	正職員	0.34	2,584	0.37	2,738	0.18	1,368	0.18	1,404	48.6%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0		0		0	-
	非常勤職員		0	0	0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0	0		0		0	-
支出合計 A		57,882	57,439	1,368	118,404					2.4%
財源	国・府支出金	20,960	19,754		57,150					0.0%
	地方債	15,400	14,500		42,500					0.0%
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	21,522	23,185	1,368	18,754					5.9%
一般財源比率 C÷A		37.2%	40.4%	100.0%	15.8%					247.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	道路調査等については、業者に委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	工事については、アウトソーシングという考え方がないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	路面性状調査	km	26.04	59	0	64.3	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	道路附属物点検	ヶ所	608	528	0	650	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				老朽化する道路ストックに対し、調査点検補修を行うことにより、安全・安心な道路網を確保できたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				老朽化する道路ストックに対し、調査点検補修を行うことにより、安全・安心な道路網を確保でき、有効的であるが、今後更に老朽化していく道路ストックに対し、新たなインフラ維持管理の考え方や事業費の確保が必要。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	老朽化する道路ストックに対し、調査点検補修を行うことにより、安全・安心な道路網を確保する。	
現在抱える課題と対策	課 題	社会資本整備総合交付金を活用し、事業を実施しているところであるが、交付金の内示率が低く、計画通りの事業が遂行できない。
	対 策	計画を作成することにより、交付金を確保しよう努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	計画的な道路維持管理のため、計画書の作成及び計画的な点検補修が必要である。	